



【戦評シート】

平成 17年 5月 4日(水)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者： 藤澤 大樹
チームA B G 7 4 9 1	チームB 7 4 安城学園高校

スターター	チームA： 4 10 13 14 15	チームB： 4 5 6 11 17
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン(2 - 3) その他()	チームB： マンツーマン ゾーン(2 - 1 - 2) その他()

初日に圧倒的な高さを生かした戦いを見せたBG74と、能代工業と延長の熱戦を繰り広げた安城学園。優勝を占う注目の一戦である。

第1Q出だし、BG74 プルネルト、安城 宇佐美がともに3Pを入れ合い、スタート。BG74は ダウネ、ボスのポストプレーやゴール下のシュートで得点、一方安城は早いパス回しから空いたスペースを 稲葉、八木が攻め、宇佐美の外からのシュートも決まり互角の戦い。28 - 24とBG74が4点リードで終了。

第2Qも一進一退の攻防が続くが、BG74は ボスにボールを集め、確実に得点を重ねていく。安城は 山崎の3Pで応戦するが、じりじりと差を広げられ、リバウンドも支配される。外からのシュートで攻めるが決まらず、苦しい展開。結局BG74が51 - 34とリードを広げ、前半を終了する。

第3Qの序盤も前半と同じような展開が続く、安城は内を攻められず外から攻撃を図るがシュートが決まらず、残り8分の場面でTOを取る。その後、山崎が連続して3Pを決め、反撃ののろしを上げる。しかし、BG74は安城のファールからフリースローを沈め、試合の主導権を渡さない。ニース、ハインツも3Pを決め、両チーム譲らずこのクォーターは18 - 18で終わる。

第4Q、安城は2 - 2 - 1のオールコートプレスで激しいプレッシャーをかける。しかし、BG74は ボスのポストプレーに加え、ニースのジャンプシュートや速攻でも加点し、差は縮まらない。安城は残り2分を切ってから連続3本3Pを決めて意地を見せるが、前半の差を守ってBG74が勝利した。

敗れはしたが、最後まであきらめず攻めた安城学園の健闘に観客から惜しみない拍手が送られた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。